

学位被授与者氏名	吉田 理恵（よしだ りえ）
論文題目	看護学生のコミュニケーションに関する研究 －臨地実習における報告行動に影響する要因について－
論文審査結果の要旨	<p>医療現場のコミュニケーションの特徴として患者の状況にニーズを伝達したり、医療者からの情報を伝達したりする「報告」が重要である。しかし、看護学生は、何を報告すべきなのか、どのように報告すべきなのかが十分に理解できない。そのため、看護基礎教育においてコミュニケーション能力を高めることが、重要な課題とされており、実際のコミュニケーション能力を身につける機会として、臨地実習が果たす役割が大きいと考えられている。本論文はその臨地実習における「報告」行動の実態について看護学生を対象にした質問紙調査によって実施したものである。</p> <p>看護師や看護学生を対象にしたコミュニケーションに関する研究は多くなされているが、その多くは対人的なスキルを中心としたコミュニケーションに焦点が当てられており、情報の伝達行為という「報告」に関しての研究はほとんど見られない。しかし、医療場面においては、対人的なスキルも重要であるが、上述のように客観的事実を「報告」することが重要であり、そこに焦点を当てた本論文は独自性が高いと考えられる。</p> <p>報告行動を報告のメンタルモデルという認知心理学的観点からそれをとらえ、報告にどのような因子が関わるかを明らかにし、そしてそれらの変数によるクラスタ分析によって、学生の報告スキルが学習されていくプロセスまで明らかになされている。このような結果は、今後の臨床におけるコミュニケーションの指導に有益な示唆を与えるものであり、実践的な研究としての有用性も高い。</p> <p>平成 24 年 2 月 22 日に、北九州市立大学北方キャンパス 4 号館 4-301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>